

港湾整備事業の新規事業候補箇所一覧

【港湾整備事業】

	港名	事業名	事業期間	総事業費(億円)	費用便益分析			事業概要
					便益:B(億円)	費用:C(億円)	B/C	
1	釧路港	国際物流ターミナル整備事業	H26～H29	182	739	182	4.1	大型船舶による穀物の大量一括輸送を可能とし、北海道・東北地方をはじめとする地域への穀物の安定的かつ安価な輸送を実現するとともに、非効率な荷役形態の改善を図るため、水深14mの国際物流ターミナルを整備する。
2	東京港	臨港道路整備事業(南北線)	H26～H31	1,100	1,037	899	1.2	中央防波堤地区の開発に伴う将来交通量需要の増大に対応し、東京港の円滑な物流を確保するため、中央防波堤地区と有明側を結ぶ主動線として、臨港道路(南北線)を整備する。
3	三河港	ふ頭再編改良事業	H26～H29	50	119	42	2.8	完成自動車、コンテナ貨物の取扱需要の増加及び施設の老朽化に対応し、貨物の混在や岸壁延長不足を解消するため、水深12m岸壁の延伸及びふ頭の再編を行う。また、東海・東南海地震に対し、緊急物資輸送機能の確保と企業活動の継続及び早期復興を可能とするよう耐震強化岸壁を確保する。
4	東予港	複合一貫輸送ターミナル整備事業	H26～H30	77	229	66	3.5	フェリー貨物需要の増加及び船舶の大型化に対応するとともに、南海トラフを発生源とする大規模地震発生時の緊急物資輸送機能を確保するため、水深7.5mの複合一貫輸送ターミナルを整備する。
5	那覇港	臨港道路整備事業(若狭港町線)	H26～H35	358 (全体事業費731)	1,107	544	2.0	那覇港及びその周辺で整備が進められている臨港道路浦添線や道路ネットワークと連携し、那覇港から那覇空港・沖縄本島南部地域・中北部地域への交通量増加に対応するとともに、那覇港の円滑な物流を確保するため、臨港道路(若狭港町線)を整備する。

【海岸事業】

	港名	事業名	事業期間	総事業費(億円)	費用便益分析			事業概要
					便益:B(億円)	費用:C(億円)	B/C	
1	指宿港海岸	直轄海岸保全施設整備事業	H26～H35	120	753	100	7.6	海浜の著しい侵食及び既設護岸の老朽化により、護岸基部からの土砂吸い出しによる背後道路の陥没、台風等の高波・高潮による背後家屋への越波・浸水被害が発生していることから、背後地域の人命・財産を災害から防護するため、侵食対策を実施する。